

「AWS Summit Japan 2026」公式ハッカソンで、全117組からニトリ所属チームが準優勝！

AIコーディングエージェントを駆使し、LINE上で動くゲーム「ナマケモノの森」をニトリの社内専門組織「AI駆動開発CoE」のチームが短期間で開発。

株式会社ニトリデジタルベース（本社：東京都北区 代表取締役社長：武井 直 以下：ニトリデジタルベース）より、2026年6月26日（金）に幕張メッセで開催された「AWS Summit Japan 2026 AI-DLC ハッカソン」の決勝において、当社の社員で構成するチーム「ポワチワーズ」が準優勝したことをお知らせいたします。



表彰のようす（左から弊社：今野、岡田、井手）

本大会は、国内最大級のクラウドカンファレンス「AWS Summit Japan 2026」の公式ハッカソンで、「人をダメにするサービス」をテーマに、AWSが提唱するAI-DLC（AI駆動開発ライフサイクル）を活用した総合的な開発力を競う技術コンテストで、全117組が参加しました。

「人をダメにするサービス」というお題に対し、チーム「ポワチワーズ」が出した答えが、LINEで動くゲーム「ナマケモノの森」です。コンセプトは「サボるほど豊かになる、ナマケだらけの経済圏」。人をダメにするはずのサービスが、結果として人をそっと前向きにする。この逆説的な設計が、お題への回答として高く評価されました。

■ナマケモノの森について

ユーザーが「二度寝した」「食べすぎた」といった日々の「ダメ」を1日1回スワイプで報告するだけのシンプルな仕組みです。その怠惰が「ナマケコイン」という通貨に変わり、ダメに共感したナマケモノたちが森に集まってきます。「怠けるほど経済が回り、サボるほど森が豊かになる」という逆転の発想により、自分を責めがちな出来事を、ゲームの中で価値あるものへと昇華させます。

やがてナマケモノは、LINE上でAIエージェントとして動き出し、ユーザーに「おつかい」として小さな頼みごとを届けはじめます。「コンビニで新商品をチェックして」といった軽いものから、「店員さんにありがとうと言ってみて」のように人と関わる一歩へと、段階的に広がっていきます。

「ナマケモノの森」の核心は、「肯定が先、行動は後」という順番にあります。世の中の自己啓発の多くは「まず行動しよう」と促しますが、自己否定感の強い人にとって、その言葉は時に重荷となります。まずは今の自分を認め、受け入れることで、人は自然と小さな一歩を踏み出せると考えています。

03 Service

ナマケモノの森

サボるほど豊かになる、ナマケだらけの経済圏



01 LINE上で開くLIFFアプリ

アプリをダウンロードすることすら面倒な、怠惰の天才でも安心

02 日常のダメだったことを報告するだけ

ダメに共感したナマケモノたちが森に集まってくるコレクション型ゲーム

03 仲良くなったナマケモノはLINE上でAIエージェントとして動き出す

— コレクションゲームで終わらない。
集めたナマケモノが、現実世界で一緒に暮らす相棒になる。

6

ナマケモノの森

ナマケモノの森開発では、AI駆動開発（AI-DLC）を自ら実践しました。AWSのAI統合開発環境であるKiro、Claude Code、GitHub Copilotといった複数のAIコーディングエージェントを設計から実装まで活用し、限られた時間の中で動作するプロダクトを作り上げています。なお「ナマケモノの森」は、本ハッカソンのために開発したプロトタイプです。

本ハッカソンで得た、AIコーディングエージェントによる高速開発の知見やプロダクト構築のノウハウは、店舗・EC・社内業務をはじめとするニトリグループの事業のデジタル変革に活かしてまいります。今後もAI駆動開発の実践力を磨き、「お、ねだん以上。」の価値を多くのお客様にお届けし続けてまいります。

■ニトリデジタルベースとは



ニトリグループの「製造物流IT小売業」というビジネスモデルを、デジタル・データ・AIの力で支える専門会社です。社内横断でAI駆動開発を推進する専門組織「AI駆動開発CoE」は、日々の開発に生成AIを取り入れ、開発の高速化と品質向上に取り組んでいます。

チーム「ポワチワークス」

株式会社ニトリホールディングスのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/73913

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社ニトリデジタルベース

組織開発・教育チーム JYOSYS_EDUCATION@nitori.jp